



## 元全日空 (ANA) のCAが 運送業の交通事故ゼロ実現に挑む！

株式会社ベストセーフティ 代表取締役 石田ゆみ 様

2017年5月に交通事故ゼロの社会実現を目指し設立。安全運転診断ソフト『Drive Corrector』を中心に、プロドライバーコンテストや研修など、運送事業者の安全教育をサポートしている。

### 安心と安全を実現する“ツール”と “教育の場”を提供

**佐久間** まず、今の事業を始めたきっかけを教えてください。

**石田** 元々、全日空のCAとして空の安全を守っており、今度は陸の安全を守っていきたいと考えたことがきっかけです。多くの事故について言えることですが、小さな要因をもとに大きな惨事を招くことがあります。その小さな事故の芽を摘むことに今は精進しております。

**佐久間** なるほど。運送事業者にとっても安全は第一です。陸の安全も是非よろしくお願ひします！

具体的に御社はどのようなサービス・商品で運送事業者の安全を実現しているのですか？

**石田** 代表的なものはプロドライバーコンテストです。ドラレコとSDカードをあらかじめ配布して、2日間の運行実績を記録していただきます。その後、SDカードの運行記録をもとに、弊社提供ツール『Drive Corrector』の安全運転診断で点数化し、プロドライバーコンテストに

て表彰を行います。また、継続した安全運転のため、いただいた運行記録に対するフィードバック資料を作成し、ドライバーの運転特徴と運転画像をDVDで提供いたします。

安全輸送意識をより社内に浸透させたいと希望する事業者様も多いので、出張講義にて詳しく解説させていただくこともあります。

**佐久間** プロドライバーコンテストとは面白いですね。コンテスト形式だと印象に残りやすく、安全輸送意識が組織内に浸透しやすいかもしれません。今までの実績ではどのようなものがありますか。

**石田** 今までの実績としては、東京都トラック協会 足立支部 (6年連続開催, 延べ250名)、東京都トラック協会 (2年連続開催, 延べ380名)、栃木県トラック協会 宇都宮支部青年部、大阪府トラック協会 中央支部、長崎県トラック協会 青年部などで実績があります。

### 『Drive Corrector』で運転行動を 分析・可視化

**佐久間** 全国的に広がりを見せていますね。少し意地悪な質問かもしれませんが、安全管理に関してはデジタコで十分ではないでしょうか。わざわざ御社のツールを使用して分析する必要はあるのですか？

**石田** ご指摘ありがとうございます (笑) 実は最近こんな事例がありました。ある運送会社でドライバーをしているAさんなのですが、デジタ

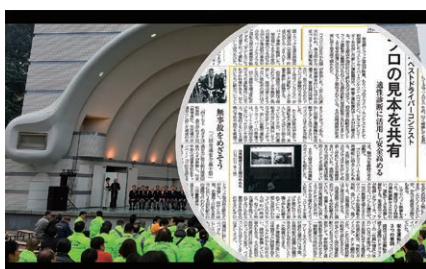
コの安全輸送スコアは常に100点近くであるものの小さな事故が絶えず、原因が分からないという状況でした。そこで弊社の『Drive Corrector』にてAさんの運転を分析したところ56点でした。単に弊社ツールが厳しいのではなく、**デジタコで識別できない右左折時の重力等のデータから総合的に分析した結果**です。つまり、デジタコの安全輸送スコアだけでは不十分なのです。

**佐久間** なるほど、恐れ入りました！独自のシステムでデジタコの安全輸送スコアでは不十分な部分を補完し、さらに研修やコンテスト、フィードバック資料で全社的・継続的な安全輸送意識を醸成するのですね。たしかにこれですと、陸の安全を任せられそうです！(笑)

### 取材後記

既存の安全管理システムに満足することなく、真の安全を確保したい！そんな想いを持って仕事をする石田さんの姿勢に感銘を受けました。EC市場が俄かに盛り上がる日本において、物流は私たち消費者や事業者にとっては経済の大動脈といっても過言ではありません。この物流の恩恵を享受できている現在において、その後ろには石田さんのような立役者がいらっしゃることを改めて認識しました。安全管理を徹底したい！より高度な安全輸送を実現したい方、是非お問い合わせください。

(佐久間)



新聞にも取り上げられたプロドライバーコンテスト



# 運行管理者試験に挑戦！

今年も運行管理者試験の季節になりました。そこで、今回は運行管理者試験の過去問を1問紹介します。運行管理者資格をお持ちの方もそうでない方も一度腕試しで解いてみてください！なお、本問は運行管理者試験のなかでも高頻度で出題される問題です。



## 問題

令和2年  
第2回 問2

次の記述のうち、貨物自動車運送事業の運行管理者の行わなければならない業務として誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 運転者に対して、法令の規定により点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容並びに法令で定める所定の事項を記録し、かつ、その記録を1年間保存すること。
- ② 事業用自動車に係る事故が発生した場合には、法令の規定により「事故発生場所」等の所定の事項を記録し、及びその記録を3年間保存すること。
- ③ 事業用自動車に備えられた非常信号用具及び消火器の取り扱いについて、当該事業用自動車の乗務員に適切な指導を行うこと。
- ④ 休憩または睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させること。



## 解答

さて、いかがでしたでしょうか。ここからは解答編です。なお、この問題は、解法のコツさえ知っていればあっという間に解ける問題です(笑)

運行管理者の業務は貨物自動車運送事業運輸安全規則 20 条に 24 項目に渡って列挙されています。しかし、これら 24 項目について、1つ1つ暗記するのは中々骨の折れる作業です。私が運行管理者試験対策講習を行う際には、以下のポイントをお伝えします。

運行管理者が行えない業務は 3

つ。それは『選任』『定める』『設置』です。『選任』は人事に関わる権限、『定める』は経営に関する権限です。運行管理者はあくまでも安全輸送の管理に徹するべきであり、人事や経営に関する権限を持っていません。『設置』は主に休憩スペースの設置が問題になりますが、もし運行管理者に『設置』の義務があれば会社の

資金を使ってスペースを設置する権限を持つこととなります。1人の従業員に対して休憩スペース設置に関する金銭的権限を持たせるのは現実的ではなく、実際は経営者の判断のもとで行われます。

したがって、『定め』の文字を見ただけで④が誤った選択肢ということが分かります。

弊所では運行管理者試験対策についてのご相談も承っております。お気軽にお申し付けください。

## 事務所 TOPIC

### 一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワークに加入しました

弊所は『一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワーク』(以下、AZ-COM ネット)に加入しました。AZ-COM ネットとは、中小のトラック運送事業者を中心とする会員制のネットワークです。会員は、「経営改善研修」や「配車担当者・ドライバー向け教育」などの教育(人材育成)支援メニューや、「ETC 大口多頻度割引サービス (AZ-COM 協同組合を

通じて提供)」「トラックや燃料等の割引販売」「運輸倉庫関連商材の共同購入」といった経営(利益)支援メニューを受けることができます。弊所は会員向けに「運行管理者試験対策講座」を提供する予定です。

加入のきっかけは今年横浜で開催されたジャパントラックショーでした。会場で、AZ-COM ネットの理念に共感し、役に立ちたいとの想いで

加入に至りました。今後は、「運行管理者試験対策講座」の提供だけでなく、会員交流を通じて、運送業界の現状把握に努め、新たなサービス開発のヒントを得たいと考えております。

